제419호　1910. 6. 2.

（明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可）（日刊）（月曜及祭日の翌日休刊）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一四金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

寄書

有志に諮る

不猛生　投

面して生が特に商家の青年子弟に之を望む事の最も切なるは他なし、彼等は我島帝國青年の活舞臺に於ける最先鋒となつて戰鬪すべき責任と天職とを有して居るからである、新文明の刺戟が比較的痛烈なる此韓國の地にありて放逸を肆にし日進月歩の時代の趨勢に暗き時は即ち遂に其地位を危ふし其職責を完ふすることが出來ない又新の文明進歩に伴ひ常に新智識を呼吸し且着實勇健なる方針を定て陣頭に臨なければ月桂冠は到底彼等の頭を飾る事が出來ない生存競爭の最も激甚を極むる新開地に於ける商戰の勇士が徒らに世の悪風潮に囚はれて因循姑息を以て是れ事とし濁流に遡るの勇氣のないを想へ實に生は寒心に堪えない、實質上の新帝國は斯の如くして盤石の基に之を建設する事が出來ようか。

世の識者既に見る所あり、頃日我商業會議所は勤續店員の功勞を擧げ之を表彰獎勵するの案を立て詮議せんとすと傳ふ商家に於ける青年子弟の此墮風を警め益々雄健なる實業界の勇士を養成するは即ち目下の急務にして此案が成立せらるれば其蹟の見るべきあるを疑はない先年大連にありても同樣な計畫を立て其精神上に及ぼしたる功果の著しきものありしといふ、生は此擧に賛すると共に其成功を祈らざるを得ない生は我京城實業社會にありて斯る好計畫の現實せらるゝを見て實に欣喜に堪ねないがこれと同時に有志識者が尙其一歩を進めて我京城商界の子弟を以て青年會を組織し各自品性の淘汰、智識の開發、和睦親密を計るの途を與へられん事を望むや且深、且切なり。

青年會が商家青年子弟に及ぼす精神上物質上の效果延いては使用者及一般社會の事業に及ぼす影響に至りては普く認識せらるゝ所であるから今これを贅するの要がないが其計畫上生の望む所の二三主なるものを擧ぐれば

一、商家の青年子弟を以て主たる要素とし賛同有志の諸士は其使用せらるゝ店員を成るべく入會せしむるの方針を採る事

二、毎月一回講演會を開催して先覺知名の士を招じて通俗講話を請ひ新智識を皷吹し品性の改善に努むる事

三、講演會を利用して會員有志の談話會を開き和親を計り交驩を厚ふし相互扶掖を期する事

四、時々郊外遠足又は運動會を催して元氣を鼓舞する事

青年會の成立は識者有志の贊助を要するは勿論にして我商業會議所又は同業組合の如き團体が中樞主腦となりて其衝に當られんことを望み又之を快諾せらるゝと信じて疑はない。

新綠だに優り濟るばかりの青葉風は吾人の燃ゆる雄心を誘ふの此好時節に際して我商戰の勇敢なる後繼者を得んとする現代の戰勝者？異鄕の活舞臺に於て其雄圖偉業を遂げんとする有爲の青年子弟？奮起一番、協力して京城實業青年會の設立を期せよ。

淺學不才を省みず所感を述べて識者諸士に諮ると爾焉（完）

靜躁昏明

一記者

彼の袴

東都、九段坂上靖國祠畔、結髮の武士が筒袖に袴を着けたる銅像は、日本陸軍の建設に功勞ある第一人、兵部大輔大村益次郎氏のそれである、軍の司令官大久保大將は「アノ袴は平素私が疊むだのじや」と懷かしまれる、儼然として建てる師父が像に對して、在りし世の面影を偲び、武夫が悔なき今の榮達を心に感謝せらるゝでもあらう「アノ袴は私が疊むだのじや」と繰返へしては語られるのである

去頃大將の愛孃……、今は人も知れる如く、崇高なる大將の心から、大久保男爵家の繼承を嚴されたる一洋畫家の夫人……が、迥々乃父を見舞に來せられた或日夫人は侍女一人を伴ひ理事廳の下手より電車に乘られた、自からなる氣品を失れざる心つかぬ人の眼には、彼れが大將男爵の愛孃かと怪まるゝ程の質素なる身邊斯うして大將の愛孃は動物園の觀覽に赴かれたのである、斯くてぞ他は陸軍大將男爵大久保春野閣下の名を聞くだに、秋霜烈日の威を感ずる、去りながら「アノ袴を私は疊むだのじや」と、師父を懷かしまれる底の溫情は大將の胸臆に潛むで居るのである、誠や大將が「武人の典型か、武士道の權化か」と尊崇さるゝも宜矣

寄書

統監と副統監

北韓山生

久しく世人を齒痒がらせたる統監更任問題は愈發表されたり、曾禰子病痾を樞密院に運ばれ、寺內陸相更て統監に任じ、山縣伊三郎氏副統監に任ぜられて事務著を告げぬるは吾人讀者諸賢と共に同慶至極に存ず、然るに茲に言を爲すものあり、曰く、世人が曾禰子に倦みたるは幾多の理由ありしならんも其の最大因たるや病弱曠職に在り、寺內子新たに統監を兼ね東京に在て統監の職を行ふは曾禰子在職の時と幾許の差異あるべきぞ、故にこそ山縣氏を副統監に任じて韓國に駐在せしめ、代て統監の事を視せしむるなれといふ乎、曾禰子の下に副統監を置くと何の擇ぶ處ぞ、斯くても尙世人は統監の更任を擇ぶ、以て今より前、世人が如何に統監政治に倦じたるかを識るを得ざ雖ども、然れども今回の更任を以て直ちに世人の期待に副ふの結果を得べしとするは頗ぶる早計に失すと、

私かに謂ふに、說者の言理あり、副統監の韓京に在るは、其の職權と職責を共に總務長官事務取扱に比して重大なるが爲めに其執政は太だ頼むべきに似たれども、統監の名は苟も空名ならざる限り大事の決は之れを東京に仰がざるべからざるのみならず、愁い統監が內閣の一員たるより左支右梧、時に或は韓國の事情と交涉なき制肘を蒙むること無しと云ふべからず吾人之を憂ふ。

抑も日本の韓國に臨むや、強ちに高大なる位置を設くるに及ばし、唯保護國の代表者たるの權威を附せば足る、唯夫れ詔く斷じ能く行ふ者を以て之れに任ずれば即ち足る、其親任官たると勅任官たるとは問ふ處にあらず、其の統監たると副統監たると將た何の加減する處あらんや、去れど吾人は統監の更任に於て世間の較活氣を帶び來れるを賀す、而て此の活氣起ちたる世間は指を屈して新副統監の着任を待てるを知る、固より又寺內子及山縣氏の威望勢力が如斯に致せるに非らずして、世人の庶幾ふ處或は行ばれんかを思ふて爾るを知る、於此乎吾人は山縣氏が十分の權威を以て此の國に臨み、能く斷じ能く行ふことを希望し殊に東京に在る統監の濫りに山縣氏に制肘を加へて國民をして却て其の愚劣なるを怨せしめ又しても失望に終らしむる勿らんことを切望す。

日本銘刀傳

第百廿七席　津田近江之守（卅一）　邑井一講演

岡島彌惣右衛門は正直に殿樣へ御奉公をして居りましたが、元祿十四年殿樣の御事で家は斷絶、家來一同浪人となつた岡島彌惣右衛門も御妻君は死んでしまい、今は獨身者だから至つて氣樂で、直ぐに家をしまつて大石內藏之助と共に江戸へ來て、艱難辛苦を致し、愈々仇討と云ふことになつた、十二月十三日の朝岡島彌惣右衛門は麻上下を着用致しまして高輪萬松山泉岳寺に參るさ、一同最前より相揃つて居ります、此處で本堂へ御列坐に及び故匠內頭れ位牌を安置いたし、極道上人を先として一山の僧侶本堂へ一同打揃ひまして是れより經文讀誦に相成る、此時に浪人衆は亡君への經文でない我々が活ながら導かれる者と眼を閉ぢ難有く拜聽に及んで居るといふ……罪人は後に引導のないもの、活ながら御佛に導かれるのが近道であらうといふ量見暫くにして讀經終つて仕舞ふ、小坐敷に內藏之助極道和尙を招いて 內「貴僧のれ骨折にて愈々七日の法事終りを告げて喜ばしいことでござる、付ては兩三日中に拙者は山科へ立歸へる、何うか今一度御法會に預りたう存ずるが、手前も最早四十一歳何時か初老に相成つて、此次の佛事は不定と申さなければならぬ、然らば、殘る方なく御法會を跡々までれ托し申し立歸る積り先づ金子百兩、此百金は亡君へ朝夕れ具へ下さるれ燈明料、且つ香花料として寄進仕る 極「ハ、ア是れは〳〵冷光院殿嘸ぞれ喜びでござらう 內「別段百兩 極「此一金は 內「是れは亡君へれ具へ下さるれ供物料御飯料と致して、寄進仕る 極「是れは〳〵冷光院殿嘸かし御滿足で居らせられませう 內「外に二百兩 極「此二百兩は 內「れ寺御本堂庫裡御普請御修覆料に寄進仕りますれ納め置き下さるやうに 極「ア、何うも是れはれ厨きのことで定めし冷光院殿れ喜びでござらう 內「又々百兩 極「此百金は 內「御法事に付きれ骨折下すつた貴僧へ失禮ながら御禮別段五十兩は寺中末々のた方々に是れを何うか御配當下さるやうに 極「重々の賜り物難有く受納致すでござらう 大した客人でござるから只も置けない斯ういふ大きな寺になれば最う料理番もちやんとついて居るものだから奥坐敷にて一同に對して精進料理の御馳走といふ譯になる內藏之助が 內「扨て御坊へ今一つれ願がござる我々も長く無祿の浪人で居つたが、忠臣二君に仕へずの古言は何うも立貫くことの出來ぬといふは皆な家に厄介手足纒ひの妻子がござるから、諸家に武士道に違ふやうではあるが、樣よりれ招き下さる口もござるから一統身分に有附きを致したう存ずる、其割振密談を仕りたく暫く此れ座敷を拜借致して身分の落着を語ひたうござる、是れは極道上人も明十四日晚吉良殿打入の此處で內部定をすることは夢にも知らない、成程昔と違つて物價も高くはあるし、浪人で生活の立つ譯もなし、言つて慣れぬ商人になつてからが迚ても立行かず、是れは御本家の紀州公から何人來いれ分れの廣尾の三萬石の淺野樣から賤人來い、內藏之助の兄池田家への緣もあるから、備前の池田公に何人來いど、斯ういふ一つ相談があるのだらう、是れは尤も千萬と思ひましたから 極「委細承知致しました、御相談の果てますまでは小坊主の一人も是れへ近づかぬやうに申附置くでござらう、其れ椽側にれ酒とれ燗銅盤を持參いたさして置きましたから御隨意に召上つて下さるやうに」と和尙さんは引取つて仕舞ふ、跡を見送つて內藏之助 內「時に方々今日は明夜吉良殿へ斬入の御相談を致すに付ては、今日だけ何うか御迷惑のれ方もあらうが酒は愼まれたい、酒を飲めば心機も亂れ申違ひれ間違ひ等あつては大事でござるから、左樣れ心得下さるやう併し五十人近い人數か集つて和尙が親切に贈り呉れたる酒を一合も減らさぬでは又寺中の者にれ手先杯も來て居らうから、我々が飲んだやうに二三升何れへか知れぬ所へれ棄て下さるやう」○「心得ましてござる」一同岡島彌惣右衛門が大きな白銚の德利を持つて仕つて、椽の下に惜げもなく酒を明る、堀部安兵衛赤埴源藏杯は口惜しがつて居る料理は一同箸を採つて食べるさいふ、是れは食過ぎるとチト眠氣が出る位のことで此食物の方で心機が亂れる氣遣ひはない、食事が終つて仕舞ふ內藏之助は用意の書物を取出して 內「扨て方々れ聞下さるやう、明十四日本所松坂町吉良左兵衛佐御宅へ亂入は夜の九つを合圖と致し、表御門へは斯くいふ內藏之助始め二十四人之を東組と唱へ、裏御門よりは倅主税を先手として二十三人之を西組と唱へ、いろは假名の印しを用ふ、是れは表に參る二十四人の姓名、此方は裏御門に參る二十三人の姓名、夫れにてれ見分け下さるやう」と渡す

東京電報

▲統監の事務引繼 寺内統監は山縣副統監を随へ本日片瀨に赴き曾禰前統監と會見して事務の引繼を爲したり(一日)

▲寺内統監の訓示 寺内新統監は昨卅一日東上中の木内、岡、荒井の各参與官及中山、兒玉の兩書記官等を陸軍大臣官邸に召集し就任の挨拶を述べ山縣副統監を紹介し尚一同に對し一場の訓示を爲したり

▲岡次官の歸任期 東上中の岡内部次官は來る五日東京出發歸韓の途に就くべし(同上)

▲陸軍將官の更迭 本日午前十時宮中に於て親任式御擧行相成りたり(同上)
陸軍省軍務局長中將 正四位勳二等功二級 長岡外史
補第十三師團長
第十三師團長陸軍中將 正四位勳二等功二級男爵 岡崎生三
待命仰付けらる
尚ほ外に旅團長以下左の如く更迭す
步兵第廿九旅團長陸軍少將 正五位勳二等功三級 岡市之助
補陸軍省軍務局長
露國大使館付陸軍步兵大佐 從五位勳三等功三級 萩野末吉
任陸軍少將補第二十九旅團長

▲日露協約と當局 外務省當局者は日露新協約に關し語つて曰く交渉開始以來尚ほ三週間に過ぎず故に成立は勿論調印の運びに至らずと打消し居れり(同上)

▲水町財務官の任命 水町袈裟六氏は海外駐劄財務官に任命せらる

歐州電報

▲加州の邦人歡迎 加奈太に於ける日本人移民調査會は報告書を知事に呈出せり其の要に曰く日本人勞働者の移入は加奈太農園果樹園發展の爲め絕對的必要なりと主張し大に排日論者の勢力を挫く(一日)

雜報

大官の進退如何（大更迭の實行難）

昨紙東電は統監府高級官吏韓政府各部次官に大交迭を斷行すべく報じ來れるが扨て其内情を考察すれば實行頗る困難なるが如し試みに石塚氏以下各官の系統及其の勢力を査察するに

▲石塚英藏氏 は寺内統監に對しては稍々遠緣の傾向なるも氏は大山元帥と言へる有力なる後援あり元帥の政治的勢力は既に過去の歷史に屬するも統監の婿居あり陸軍部内には尚ほ動し難き勢望あり殊に氏は永く總務長官事務を擔任し縱令珍香を燻かすと雖も其功勞は沒すべからず勞々之を試るは情に於て忍びざる所あるべし故に先づ安全の方寧ろ本官に昇任すべき運命あり

▲木内岡兩氏 是れ所謂改革の動機を與へたる二魁にして新統監をして大官更迭の必要を叫はしめたるものは此二人者なり然れども木内氏には桂内閣の最も恐るゝ三菱勢力の後援あり之を動かすは八面玲瓏主義の桂氏の躊躇する處なるべし又岡氏は微弱ながら山縣氏と官僚的因緣を有す故に彼是共に疑問なり若し敢へて之を斷行すれば喧嘩兩成敗の處分の外他に策なかるべし

▲荒井俵兩氏 共に是れ大藏系統に屬す大藏系統なるものゝ財政上に於ける勢力は實に絕大にして人物の供給殆んど之を占む然れども荒井氏の手腕は疾くに定評あり前途至難の韓國財政を處理するには尚ほ少しく敏腕家を要す俵氏又徒らに溫厚の君子人たるのみ果して能く土地調査の大業を完ふし得べきや故に共に之を變迭せしめたきは新統監の希望なるべきも彼の系統は之を排するに一寸至難なり若し他に適任者あり更に二人者の爲めに好箇の仕途あらば兎に角

▲松井若林兩氏 警察機關の統一活動は現下の至要問題なり而して其際警視廳の運命は瞭然火を見るより明かなり故に現制度に在る以上は共に安全なりと言ふの外なし若し夫れ統一後の松井氏は如何桂内閣對燒打事件を知るものは松井氏對桂内閣を聯想すべし當時の忠勤と犧牲に對しても決して不安の廣なかるべし寧ろ未來獨立すべき警察本部總長の椅子は確かならん

▲倉富國分兩氏 目下大船に乘心地せるは此兩氏なり一は司法制度の地盤により一は通譯界唯一の大立物として重きを爲し官界の動搖とは夫れ何事ぞと空吹く境遇なり豈に又羨むべき限りならずや

▲小宮三保松氏 既に韓廷の臣となり近くは吾が皇室に不敬事件を演出せる張本人殊に曾禰大人の掛冠せる今日平然たる譯には行かざるべし縱令頼まれずとも自ら進むで處決せざるべからずとは氏に對する一般の觀測なり而かも霹靂一聲下るまで夢覺めざるや否や

斯く詮じ來れば大更迭の實行如何に至難なるか推知し得べし殊に山縣副統監の下に總務長官たる人は石塚氏を措いて他に適任者なかるべし又兒玉氏は曾て舅が統監とならば大藏省に舞戻るのみと云へるが果して此覺悟ありや否やと某氏は品隲せり(電通)

一進會の内訌

一進會には近來評議員金丸一派の變節漢を生じ副會長金澤鉉を擁して會長李容九を排斥せんと企て非常の紛擾を極めたりしが今其眞相を報導せんに始め總理李完用は合邦問題以來一進會に啣む處あり機會あらば其根底を崩さんと窺ひ居りしに偶々趙南升事件の被檢擧ありし是れ在日の宋秉畯が統監府へ密告したる結果なりと揣摩し恨骨髓に徹し茲に息李恒九の金丸と友とし好きを利用し若干の資金を與へて同會の攪亂に努めしめたり利の爲めに變節位は朝飯前なる金丸唯々諾々として之に應じ先づ李容九に對して恐喝を試み合邦問題當時幾多費消せる金額の行衛不明なるを詰らんとせるが李容九は容易に彼に面會を許さず茲に於て彼は倍々躍起となり地團太踏むで本部に怒鳴り込み渠容九は濫りに會金を私消し獨り得々たり吾等は如何に苦苦するも遂に犬骨に歸せん如かず此際彼の會長たるを排斥して代ゆるに金副會長を以てせんと致し闇き暗に李完用の爪牙となり變節の忠勤を搬んでとしたるを同會幹部は其小癪の振舞に激し一昨三十日突如總會を開き彼金丸等を除名したり而して同時に副會長金澤鉉竪子金丸の爲めに致されんとしたる不明を悔る其罪を深謝して漸く無事紛擾を解決せり(電通)

經濟小言

▲故伊藤公は經濟の智識を全く有せざりし人なり、故に事經濟に關しては菽麥を辯せざりし程に無智の人なりし此人統監たりし間に半島の經濟狀態が萎縮したるは寧ろ當然なり。

▲二世統監曾禰子は伊藤公と反對に經濟を生命とせし人なり、否少なくとも經濟を生命とせる如く口に言ひし人なり、惜哉此人不絕經濟を口にしたれども元々素養なく經綸なきを以て其短き在職中徒らに產業政策を説きたる外何等見るべきの施設を爲さずして止む。

▲新任寺内子は軍人なり、軍人必ずしも經濟を解せざるに非ず、新任山縣副統監は前遞相なり、遞相必ずしも經濟を解せざるにあらず、されど此二人者が近世的國勢發展の眞意義の經濟に存せる事を解せりや否やは頗ぶる疑問に屬す。

▲大和民族の發展や國威の發揚や決して輕視すべきに非ず、而かも經濟的施設の伴はざる民族の發展や國威の發揚や只是れ砂上樓閣のみ。

▲軍人統監なりとて經濟的施設を怠るべしとは信せず、併し桂侯を除きて他の軍人政治家が經濟を輕視するの傾向あるは免れざるの事實なり若し幸にして寺内子が意を經濟の發展に注げば可なり。

▲不幸子の方針にして茲に出でざらんには氣の毒ながら第三世統監も遂に失敗の跡を貽さんのみ。附言す地方行政の刷新や乃至合邦や余輩にとりては經濟施設の準備に過ぎず、而かも之等を遂行して能事了れりとせば山は依然として赭、人は依然として菜色、豈思ふても思はざる可けんや。

●密漁船の驅逐情報

鎭南浦稅關所屬の巡邏船は去る二十三日早朝艾島に於ける密漁船全く撤退せしを以て更らに外鷄島に向つて進行したるに同島を根據とせる密漁船四十七隻八百八十八名は將さに陸上に十六戶の小屋掛を假設せんと爲しつゝありたるを以て直ちに退去を命じ轉じて雲霧島に向つて發航し同島に到りしところ五十七隻の密漁船人數二百二十八名集合して巳に小屋掛十七戶を設備し居りたれば是又直ちに退去すべきを命ぜしに毫も對抗することなく翌二十四日午前中に悉く退島再び前の外鷄島に引返せしが密漁船等は依然として退島せず因つて懇諭を與へたる結果漸く退去し再び沙五浦に回航せしに同浦にも亦た密漁船九十隻人數三百六十名集合し二十二戶の小屋掛中なりしを以て彼等に對し韓國沿海に於て漁獵をなすの不法を説き翌二十五日早朝迄に同浦を撤退せしめたるに付き是にて清川江の沖合に於ける優勢なる清國密漁船は悉く掃蕩し盡し目下は隻影を絶つに至りし

●度支部と小作行政

度支部にては國有地に於ける小作人に對して小作行政の規定を設け其の一部に付ては既に實行し居れるが内容の重なるものは左の如し

(一)度支部と小作人との間に於ける仲介者の弊害を除去すること(二)從來不統一なりし小作料を一定すること(二)舍音を排斥すること(一)度支部の監督者は直接面長をして其事務を取扱はしむること(一)小作人組合を設け褒賞規則を定め小作人を勸勉ならしめ之れを獎勵すること(一)多少の費用を投じて簡單なる農事の改良を指導すること

●高等土地調査委員

土地調査に伴ふ權利問題確定機關として各道に地方土地調査委員會を置き地方に於ける係爭は該委員會之を決し土地調査局總裁之を裁定し此裁定に不服あるものは高等土地調査委員會に申告すべき順序なるが今該委員會の組織を聞くに度支部土地調査局の勅奏任官各二人農商工部勅奏任官一人を任命し外に統監府司法廳若くは裁判所判事より三名囑託すべしと云ふ

●鴨綠江架橋竣成期

鴨綠江架橋工事其後の狀況は本年の解氷後より滿韓兩の方面よりも工事に着手し目下着々進行中なるが全部の豫算は二百萬圓にして二百尺の桁六個、三百尺の桁六個あり此内一個を開閉橋と爲し船舶の交通に便するものとす而して二百尺の桁に對する橋脚工事は殆んど竣工し殘餘の橋脚は本年中に竣工し明年の解氷後に於て橋桁工事に移り來年中には全部竣成の豫定なりと

●統監更迭と兩民團

京龍合併に就ては着々其歩を進め統監の承認を經る迄に至り居りし際統監更迭行はれしを以て寺内新統監に對し前後の事情を具申する必要あるを以て目下之が起稿の由なるが遲くとも今明日中には發送の運びに至るべく從て合併の發表は副統監着任後なるべく其實施期は七月一日若くは十日ならんと云ふ

●江原道金城の旱魃

金城にては晴天打續き暑氣昂騰したる爲め麥作、粟、大小豆、野菜等に大影響を蒙り水田にありては插秧の準備をなす事能はず從つて穀類の市場に出るもの極めて尠なく價格は意想外に騰貴し住民は頗る困窮し居れりと云ふ

社告

病統監曾禰子爵遂に掛冠して寺内陸相之れに更り山縣前遞相は新に副統監に親任せられ永く沈睡せし統監政治は茲に面目を一新し世上の景氣は將に活氣を帶びんとす、されば本社は兩統監更迭を紀念する爲め左の通り一大紀念號を發刊せんとす

統監更迭紀念號

▲紀念號發行日 來る六月廿五日

▲記事の内容 韓半島に關する名士の談論其他政治、經濟、人情、風俗、美文、短篇等最も趣味と實益に富める記事を網羅す

▲頁數と發行部數 約數十頁となし發行部數も平素に數倍し廣く江湖に配附せんとす

右の次第なれば當日の廣告は普通廣告に比し數倍の價値あるを信ず

尤も廣告締切り期日は六月二十日を限りとす

六月 京城新報社

取引所問題答申書

曩きに三浦理事官より諮問に係る京城日本人商業會議所に於ける取引所設立問題答申書左の如し

答申

取引所の一般社會に對する效果及其の弊害を研究するは素より一朝にして能く之を盡す能はずと雖も取引所の公定相場なるものが常に物價の均衡を保持し亦た株式相場の貴賤不同は忽ち其の半面に於て各種事業の盛衰を表示し且つ敏速に之れが利害を知悉せしめ以て資本家に放資の方向を示し克く財界の波瀾之れに伴ふ生產及商業の浮沈に際し一般經濟界の調和上效果あるは既に各國の認むる處にして多く言ふの要なし凡て國の内外を問はず社會進步の趨勢に伴ひ商取引所に於ける最高機關たる取引所設立を見る亦た故なきにあらず若し夫れ當地に取引所の設立を見ん乎時に多少の弊害は免れずと雖も其の監督方法等の克しきを得ば爲めに商民の出入頻繁となり貨物の集散賣買を敏速ならしめ以て當地經濟界に多少の活氣を添へ其の發展を促すに於て或は幾分の助成を與ふるなき能はずと言ふを得べし今回貴官の諮問に係る取引所設立可否の件に付當會議所に於て審議研究の結果去る二十七日臨時會に於て取引所設立の議を發し二十七年農商務省令第七號に準し左の如く決定せり

一、京城に於ける貨物の集散數量及其の狀況に依れば取引所を設立し價格を公定するの必要ありと認む

二、當地に接近する取引所の作用により物貨の需用供給の關係を圓滑ならしむるに足らざるものと認む(理由畧)

三、京城に於て取引所設置するも將來能く之を保持し得るものと認む但し資本金は五十萬圓以上とし株式組織を以て設立する事

希望

一、取引所に於て倉庫業を兼營するは得策にあらずと認む

一、取引所の監督に付ては日本現行の取引所法及之れに關する勅令省令訓令等一切の關係法規を準用せられたき事

●導掌處分の決定

度支部調査中の導掌處分は近頃決定せしもの百十一人此の金十萬四千八十七圓九十二錢九厘にして未決定は十四人此見込金額一万五千九百十二圓七錢一厘なるが決定の分に對しては去る三十日以來指令を交附し度支部會計課にて支拂を爲しつゝ居れるが元來導掌處分なるものは恩惠的の行政處分なる故一切不服を許さずと

●金鑛重役の結婚

雲山金鑛會社重役バチス氏は近日京城の英國教會堂に於て結婚式を擧ぐる由なりと云ふ

●菊池博士の辭職

大韓醫院長醫學博士菊池常三郎氏は都合に依り近く辭職するとの事なり

●民團選擧名簿調製

京龍民團の合併に就ては三浦理事官より統監府へ上申したることは既報の如くなるが之に關しては統監府に於ても異議なき由なれば遲くとも今月中に告示を以て合併を表示すべければ來月中に實行することに運ぶべく而して民團議員の選擧は十月七日を以て總改選をなすことは曩きに三浦理事官始め兩民長、議員の協定したる所なれば八月十九日現在にて選擧人名簿を調製することに決定し京城の方に於ては既に其準備に着手せり

●鐵道測量と地方民

京仁鐵道測量に就て漢城府は些の故障なく進捗せしが楊州郡に至るや地方人民は測量の爲め植立せし標木を見該地域は不日官に沒收さるゝものと誤解し陰に作業の妨害を企つる者あり護衛として出張したる憲兵は其地方の面長及里長を集め鐵道の利便と土地收容に關し委曲説諭する所あり漸く誤解を氷釋せしかば面長里長は更に之れを人民に傳へ妄動を止め居れりと云ふ

●降雨と農民の希望

過般晴天打續き用水缺乏し農民は一般に困苦を極め臨津江一帶の農民の如き草根に[illegible]を着け僅に糊口を凌ぐ有樣なりしが一昨夜の降雨により多少愁眉を開きたるべきも一坪三斗余にては充分とは云ふべからず少くも一石以上の降雨ありたき者なりと某農業家は語れり

●學部事務官の歸任

學部柳田事務官は飜譯官補李完應を從へ博多、名古屋兩共進會地を經て東京に赴き教育上に關する視察を遂げ李完應は既に數日前歸任し柳田事務官は鄉里鹿兒島に立寄り一日夜南大門着の筈

●共進會出品の處置

曩きに福岡、名古屋の兩共進會へ韓國政府より出陳したる物品の内一部は今秋上州前橋に開會せらるべき共進會へ出陳し一部は福岡商品陳列館及鹿兒島農林學校へ寄附し殘餘は韓國へ戾たり

●仁川昨今の金融界

仁川に於ける昨今金融界の閑靜を聞くに大勢經濟の變なりと雖も米界の活況に伴ふ資金の需用著しき爲め三銀行共繁忙を極め居れり金利は三錢內外なり

●東拓總裁以下歸任

東拓第二總會に臨席する爲め東上中なりし宇佐川總裁、井上理事及び猿壽秘役長三氏は一日夜南大門着歸任の筈

●獨逸記者學校巡覽

アストルハウスに止宿せる獨逸新聞ツテンヘルド氏は本日學部所轄市内各學校巡覽の豫定なりしが病氣の爲延期

●韓銀出張所の開設

韓國銀行にては新義州に出張所を設置することに決定し居りたるが愈々昨一日を以て銀行業務を開始したりと

●龍山民團の民籍簿

龍山民團にては一日より民籍簿整理に着手せり京龍民團合併の準備ならんか

●篠田書記官歸任

農商工部書記官篠田治策氏は平壤水道開通式へ參列の爲め出張中の處去る三十一日歸京したり

●阿部事務官歸任

兼て名古屋、京都地方へ向け出張中なりし度支部事務官阿部秀太郎氏は數日前歸任したりと

●保安課長の歸任

京義沿線の警務狀況視察の爲め出張中なりし内部保安課長亥角仲藏氏は卅一日夜歸任したり

●本田書記官歸任

教科書に關する要務を帶び約一箇月間上京中なりし學部本田書記官は三十日歸任せられたり

●奥田獸醫の歸任

馬匹檢疫の爲め清津に出張中なりし軍司令部附奥田一等獸醫は去る三十一日夜歸任したり

●河内主計正出發

陸軍省經理局課員に轉補せられたる河内一等主計正は昨一日夜龍山出發赴任の途に就きたり

●和田博士の歸東

和田博士は昨一日午前九時南大門發列車にて歸東せり

▲治外法權▼

寺内陸相が統監兼任となつたに就いて不思議に思ふ者は邦人中には一人もない、併し外人中には統監は外務大臣が兼ねべきもので陸相が兼ねべきものでないなどと云つてる者が幾らもある▲記者は過渡期の統監が寧ろ軍人であつてソウして駐韓軍の司令官を兼ねることが何かに便宜なるべきを信じて居る、併し陸相に司令官は兼ねられまい、さすれば寺内に軍司令官になつて貰ひたい▲韓人側にモー一層を願ひ陸相を止めて統監專於ける新統監の氣受は可もなし不可もなしの樣だ、併し李完用内閣をドウするダロウかなどと氣を揉んで居る輩も少しはあるようだ▲當地各新聞が新統監發表と同時に形式的歡迎文を掲げぬのは各紙の態度が大人的になつた證據だ、新統監の人格も施政方針も目下の處未知數だ▲京城では商業會議所議員撰擧の有權者が增した、夫れに引換へ仁川では昨年に比し有權者が減じた、仁川から南大門へ來る引越荷物の多い事は此間の消息を説明する▲内部では成べく韓人を巡査に養成して使ふ方針だソウだがソウなくばならぬ、月給の高い性質の惡い輸入巡査を使ふよりは其方がドレ程便利か知れぬ▲南大門通りの街路工事はドウしたのか、内部の氣永がには呆れる、電人車馬衝突又衝突今に人死があつたら誰が責任を負ふか、内部にして出來ずばイッソ民團に任かせるがよからう。

名妓洗髮のれ妻(四)

▽如何に感慨多き思ひ出よ ▽遊人道稱古賀吉との關係

夫れで其御婚禮の頃は、私は銀座二丁目今の高田商會の所で、例の古賀さんと煙草屋をしてゐたのでした、市村が築地の宅へれ鯉ちやんが嫁く**道**筋に當るので、私は何んとも思つてゐない積りでしたが、れ鯉ちやんが車で通つた時の**私の顏**附が何となく常とは**違つて**ゐたさうです、不思議なのは今のたはるさんを市村が貰つた時には、れ鯉ちやんが築地の待合の二階から車に乘つて市村へ嫁くれはるさんを見て、何んとも知れぬ厭な氣がしたさうです、此れも何の因縁か、夫れから煙草屋時代の古賀さんの話をしろと有仰るの？困つたね、其れは無理よ、此ばかりは私の口から何うも申上げられません古賀さんの事は人が何うやら忘れかゝつてゐる時ですもの、今まで隨分思切つて身の恥も包まず、れ話し致しましたわ、何もね、私が自分免許に名妓だなぞと**生意氣**に思つちやゐませんがね、まだ稼業をしてゐる身ですもの、少しは**色氣**を持たして置いて下さい、夫れなら今の亭主の話しをしろと仰やつても、夫れは何々と無理です、現在連添つてゐるのですもの此れも何ぞ因縁、今の市村の惚氣續けで、シヤギリと致しませうよオホヽヽヽ……と口を切つたれ妻は**其半生**の夢のやうな跡を辿つてゐるのか、瞼を引いた太い眉根を顰ばして、其眼は夢見るやうであつたが、ア、如何[illegible]生に取つて見逃すべからざる思ひ出よ、所謂古賀さん時代の物語らねばならぬ▲古賀吉とは其の遊人仲間の通稱であつて本名は井上吉五郎、今は洲崎甲子樓の主人である、此古賀吉がれ妻の抑も馴初めと云ふと、卅二年の頃であつた、花家のれ客に恰幅も立派な**長髯を撫し**つゝ遊び續てゐたものがある、其遊びは**垢拔**けてゐる**金離**れの綺麗な人花家の女中を初めとし、其座に一度でも侍べつた大抵の藝者は、大臣參議でもあらうかと其の名は知らず、近頃での稀らしいれ客として、樋で砂掃く程の取扱をしてゐたが、れ妻も其一人であつた、時には或は兜町邊りへ出入の人ぢやないかとも思つたさうであるが、此れが遊人の古賀吉さんであつたとは當時夢にも知らなかつた。

一昨夜の大雷雨

▽仁川觀測所報告

少量の降雨を除き雨と稱すべき程の降雨なき事三十五日間農家の如きは尠からず憂慮せしが一昨朝滿洲に在る低氣壓著しく下降すると同時に韓國中部の溫度非常に昇騰し三十度以上に達したるにぞ氣壓の下降と溫度の昇騰に依り京仁地方に一少低氣壓を生ずるに至り茲に地方的雷雨となりたるなり雷鳴の始めは八時四十七分にして降雨の始めは九時十四分なりしが午前一時三十五分最も烈しく三雷鳴の大なるあり今朝未明に及び漸く歇みたり其の降雨量は十六粍二にて是を日本桝に改算すれば一坪三斗一合に當り或部は確に潤へり去れば晴れたる天候は持續すべき模樣なく遠からず降雨あるべき見込也

河合校長の偏頗

▽當局 官憲の注意を促す

近時俄然無能の聲を高め來れる日の出町尋常高等小學校長河合精一郎氏は大分縣速見郡杵築町の人にして明治十五年七月縣立師範學校を卒業し同地小學校在職中三十二年四月速見郡視學に轉じ六給俸を頂く身分となつたのが四十一年の四月前民長熊谷氏の推薦で前校長横山彌三氏が第二小學校に轉任するに付後任者として轉任し來つた當時横山校長は未だ新任校舍へ移轉して居らなかつたので河合氏は佐藤旅館に投宿したが不經濟と云ふを口實に同校裁縫教室に引き移り前校長の移轉を暗々に速からしめんと試みた此れだ抑も此辣手段を弄したる第一歩である爾來此の種の手段を以て已れに阿らざる者に辛く當る校務一切は主席訓導羽多井氏に委ねて顧みぬ總ての問題悉く同氏の決斷に待つ高等官連の子供には長の親の威光を恐れて優しく賞罰を明かにせぬ本年四月の年度變りに敎員の入れ替を行つたが獄り且つ敬遠したものは多く生徒の父兄間に信用のある人のみで小使其の他に至るまで同縣人に變更した同時に同縣出身の敎員のみの增俸を請求し現民長は之れに承認を與へ夫れに河合校長を加へて理事廳に認可を申請した所美事に却下せられた而して毎年一回東京に於ける全國小學校長會議に出席するが歸來後何んの改良献策もしない現任の同校は僅かに波多井氏に依つて支へられて居るの傾きがある先年竹我勉氏の子息某が椀白であると云ふので折檻し夫れが爲めでもあるまいが間もなく死亡した事件は其の受持敎員が罪を負ふて事濟みにはなつたが此れ等も監督不行屆の一例證と見ることも出來る、要するに河合氏は永登浦か鎭南浦邊附近の校長位が適任であらうとは父兄間の云ひ分であるが事實は當局官憲の嚴重なる調査と督勵とに待つ外はない

女振り

山邊勇輔氏夫人 山邊とし子

從五位勳五等山邊勇輔君は佐賀縣佐賀の御出身で統監府司法廳職員課長奏任官二等三級、れ住居は永樂町である、とし子夫人も產地は同樣佐賀で文久元辛酉年のれ生れであると云へば本年は正に五十歲、大隈大伯の姪御である、他人と云ふものは自分の手に乘らないものゝ事を食へないと云ふ、叱られたり怒られたりすると頑固だとか沒分曉者だとか云ふ儉約で取締りが嚴格であると吝嗇だと何んとか云ふ、終いには顏の讒訴を初める、此れが又蔭で云ふのであるから腹も立たん代りには辨疏の途がない、併し何時迄も自分の耳に入らず仕舞にはならぬ、聞いて見ると腹は立つが何うにもならぬ、とし子夫人なぞも誤り傳へられて居る方である、御迷惑なことゝ察する、四十一年十月渡韓せられたのだ、令息は東京の法科大學に研學中で、夫人が目に入れても痛くない程に愛しがらるゝ令孃はみね子さんと申して去る三月中地方裁判所の名檢事兩角斌氏に嫁かれた、れ年は十九の花嫁盛り、美しく着飾られたれ嫁入仕度を見られたとし子夫人は淚を流して喜ばれた相である、兩角氏に對しては更に後日澤山と敬意を表することにしよう、とし子夫人は代々の武家、勇輔君は平民である、女の道一通り何んでもれ出來にならぬものはない取り分けて裁縫は最もれ得意である此所に殆んど山邊君も御存じない程の隱し藝がある、夫れは靜流の長刀である、秘密だく

度支部主事公金費消

▽農工銀工濟州島支店支配人

度支部主事にして光州農工銀行濟州島支店支配人柴田閑は在職中多額の行金を消費したる事發覺罷免されたりと云ふが此の頃の樣に斯ち公官吏の費消事件が續發しては此れ抑も何んの兆ぞやと云ひたくなる

●韓人の妊婦虐待

仁川府内面不洞居住の趙春明(三九)と云ふは生來の大嫉妬男にて其妻高姓女(三九)とは今を去る事六年前連れ添ひ四人の子供さへ設けしにも拘はらず朝から晩まで妻の傍にありて身邊を窺知し一寸外出し歸りの遲き時分は彼れ是れ邪推し虐待する事もありしが昨今右姓女は妊娠にて起居振舞すら自由ならぬに春明は嫉妬の極可愛さ餘つて憎さが百倍と何彼につけて妻を虐待するにぞ同女は遂ひに堪へ兼ね二三日前同洞の李元植方に逃げ行き潜伏し居りたるに春明は益々嫉妬の炎を燃やし一昨日元植と姦通せるに相違なしと同女の鼻に嚙み附きて負傷せしめたるのみならず亞髮を掴んで自宅に連れ歸り四肢五体を荒繩にて縛り出產間際の妊婦をば逆樣に天井に吊し腹も破れよとばかりに毆打せしが同女は隙を窺び息も絶々仁川警察署に駈け込み委細の事を訴出でしかば目下取調中なりと云ふ

●韓婦人の有夫姦

京畿道抱川郡内洞面屯基居祭順一(三二)は昨年舊十月頃中部長通坊貫子洞李鳳九方に雇はれ中同じく同家の雇人徐元弼の妻沈姓女(三一)は祭が夫より年も若く面相も美しきに戀慕し十一月中情交を結び徐元弼は主人用にて外出多く不在の屢なるを幸ひとし沈姓女の居室に於て密會淫逸に耽り居りしが本年五月初旬祭は事情の爲め解雇せられ鄉里抱川に歸鄉するの已を得ざるに至り祭は一先づ歸りしに分訣れる際約束せしと見へて五月三十一日沈姓女は逃げ出して東大門外にて落ち合ひ電車に乘り淸凉里に下車二人手を携へ行き居りしを怪しと認めて東部署刑事が本署に引致取調しに前記の如く實は不心得ではありしが本夫はナップンで祭さんがチョンゴシですから私から戀慕したのですと自白せしより有夫姦罪として檢事局に送らる

●姦婦の阿片自殺

南部廣通坊美洞三十二統四戶金泰興妾金姓女(三四)は昨年十月金泰興なる者の妾に抱へられしが持て生れた多淫者とて一人の相手で物足らず金泰興の友人なる南部廣通坊中泰洞二十三統六戶宋致淳と情を通じ金泰興が不在中同人を引入れ密通し居りしを金泰興が之を知り貴樣の如き不都合な奴は俺れは知らぬから宋致淳の方に行けと放逐を命ぜられしに謝罪所が却つて喜び二十一日午後三時頃宋宅に到り事情を話し是非妻にして下さい聞かなければ自殺すると云ひしに宋は友人の金泰興に濟まんから出來ぬと人間並のことを云ひしより金姓女は落膽し遂に阿片を多量に服用して現場に倒れたるより夫れ一大事と御親分署へ急報し警官出張取調しに絶命し居らざるより山本醫士をして應急手當を爲さしめたるより生命だけは取り留めたり然にても虫の善きは姦夫致順なり

●入獄の爲め渡韓

大坂市西區南長堀區當時吉野町根岸運漕店内根岸市松(二七)は毆打及詐欺の前科付曲物なるが五月二十一日渡韓同二十三日一厘の所持金なく中の新地れ多福亭に登樓二十五日迄飲や唄へと騷いだ揚句二十五圓の遊興費支拂出來ず同夜十一時頃同樓を逃げ出し本町一丁目裏通り淫賣屋君の江に登樓飲食代四圓九十錢を支拂はず南部署に突き出されたるが取調の上檢事局に送らる

店員評判記(三)

山口呉服店員、**折田市藏君**

市藏君を語るに必要なのは山下支配人が渡韓した動機である、昨紙にも記した通り山下君は山口君の實弟で夙に大阪に出で一門戶を張つた居たのだが山口君の當地に於ける事業が擴大されたに就いて其の懇請に應じて大阪の方を閉店して來たのが三十五年十月だ、市藏君は其の山下氏の店に三十一年三月から勤續して居たので同時山下氏に伴はれて山口呉服店の店員として住み込み以て今日に至つたのである、明治十四年七月二日鹿兒島縣出水郡阿久根村字波留二百二十八番戶に呱々の聲を上げたのである、大阪仕込みの客を逸さぬ接待振りから後進の誘導振りは山下氏の直傳で脫りのあらう筈がない。

●脚氣患者の卒倒

京都府平民長谷川重吉(三七)は昨年十一月渡韓太田に於て餅業を爲し居りしに都合惡しく五月中旬知人を便り龍山に來りしに知人は何れへか移り不在なるより諸所を尋ね廻る内不幸にして心臟病に罹り頃日に到り脚氣病に變症したるが三十一日午后一時頃古市町三好飲食店に喫飯中打ち倒れしより西部署へ急報警官出張取調行路病者とし民團へ保護を托す

●控訴を棄却さる

福岡縣小倉市京町二丁目當時咸興北道鏡城郡羅南生駒町岩本治助(三七)は同郡豐海面武化洞韓人姜仁聖を欺き木炭二百三十俵を騙取したる廉にて淸津支部に於て懲役二年半に處せられ控訴中の處該控訴は棄却せらる

●財物騙取の告訴

龍山祀町土木請負業岡田組店員花田長七及び主人妾の息子松浦惣作は共謀し大和町二丁目百四十九番戶石田與四郎を詐き財物を騙取したる廉にて筆洞分署へ告訴せられたり

目と耳

▲京城座 二十錢均一の車輪にての大奮勉今二日の「まゝこいじめ」全六場にて雨天の日は十五錢均一 喜劇「戀の車」上中下なりとれりお(堀江)六之助(林[illegible]) 澤)利助(高島)下女竹[illegible] 仙太(井澤)番頭源七 深[illegible] (松村)忠七 美尚)健三郎 (村上)遊人八公(松葉) (島村)飴や三吉(高岡)

▲浪花館 二日の番組は 三人旅 若三郎 馬鹿の番[illegible] 屋の仇討(圓三)黑玉つ[illegible] 入卦(文喬) 喜劇(座員總[illegible]) (若遊三)大切所作事電氣[illegible]

▲壽座 二日の代り藝題[illegible]郎一代記」にして役割は[illegible] 名主宗五郎(甑若) 女房お[illegible] 增屋れまき、御喜綾の方[illegible] 庄左衞門、本田上總之助[illegible] し守甚兵衞(甑太郎)花形[illegible] 郎)佛長寺光善(九十郎[illegible] (大倉)

●龍山座の若燕一行

……開演[illegible] 昨夜限りを以て當地歌舞伎[illegible]たる軍事講談桃川若燕一行は[illegible]座に乘り込み明日三日初[illegible]三日間にて同地を打ち上げ仁川へ巡回講演する由なるを繰り合せ龍山興行中に軍隊を無料招待する筈なるが刷局員總見物の一隊もあ[illegible]況を呈するならんと云へ

●花の日の花の集

旭町二丁目日本メソヂスト敎會日曜學校にては知久貞明君安開德勝君細井ふみ孃の連名にて招待狀を發し來る六月五日(日曜日)午前九時より日曜學校生徒主催の集りがあるかられ出下さい右御招待致します

執行順序(司會[illegible]) 讃美歌「子供の日」(來會[illegible]) 朗讀「馬太傳十八章一[illegible]」 祈禱(渡邊竹四郎) [illegible]平)唱歌(晉之組)談話[illegible] 組)唱歌(平和之組)唱歌(望之[illegible]) 遊戲(信仰之組)唱歌(同組)遊[illegible] (惠之組)唱歌(同組)[illegible] 美歌「四百二十三番」([illegible]) 敎「小兒の敎會」(木原[illegible]) 本メソヂスト日曜學校[illegible] 道の爲め」感謝之祈禱[illegible] 四百六十二番」祈禱([illegible]) 閉台後日曜學校職員生徒[illegible] へ病院及び病者を見舞[illegible]

●仲檢の花競べ

五月中に於ける當地仲檢藝妓の腕競べ夫れは兩方に[illegible]た所で[illegible]た人逹十番迄を記載すれば[illegible]を華族[illegible]悉く花に[illegible]順序に長子、福奴、若[illegible]小松、花奴、小高、政莉、勝利

●夏物の大賣出し

本町五丁目とも吳服店にては一日より本月末日迄夏物の大賣出しを爲す由なるが[illegible]見切反物類等も多數に賣出すと云ふ

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番
ゑり徳商店

廣告

マッサージ術
僂麻質斯。神經痛。脊髓炎。腰筋骨
挫骨
一切の術
小生儀内地に於て他年の間斯業に從事致し居り多數の患者を全治せし經驗有之候處今般左記に出張所を設け廣く患者の需に應ず
京城西小門通（三ツ角）
佐世保より出張 井手

滋養 高等牛乳 強壯
韓國畜産株式會社 南大門外 電話八八番

諸建築請負業
ペンキ塗
京城永樂町二丁目（赤門通り）
ペンキ 渡部正美（電話一〇二八番）

ラムネ みかん水
金水舎製
例年の通り純良なる「ラムネ」「みかん水」製造販賣候間多少に不拘御愛飲を乞ふ
漢城製藥所
藥劑師 渡邊悦之輔
京城大和町二丁目

明治廿年七月創立
資本金一千萬圓
東京海上運送火災保險株式會社
京城代理店 本町四 山口奥服店電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

韓語大成 値上廣告
一部一圓八十錢
郵送料十五錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正増補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二二五六番

六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し
利益なし元價の
一張二十五錢

東京足袋
本店東京
京城大和町一丁目（日の出橋際）
大和屋 藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りん病、よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき、膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席 鐵冷温泉
電話千四百十一番

胃腸新薬
タカヂアスターゼ

韓國總代理店
仁川本町二丁目 電話八五〇番
竹田津三平

營業科目
和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

委託販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約
釜山韓國鹽業合資會社食鹽特約

藤田合名會社
韓國京城商業會議所議員
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京十番地 京橋電新 南橋三 鍋町一六 丁目一九二

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番
日本室和食
特等（三圓五十錢）
一等（二圓五十錢）
二等（一圓八十錢）
三等（一圓五十錢）

韓國銀行
當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、咸興、羅南、安東縣、
爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、
韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、濟邊、義州、
淸國 大連、遼陽、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、
其他 漢口、上海、
外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

印刷と紙
諸官衙御用
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就き此際祝意を表すると共に平素の御愛顧に酬ひんが爲め且つ層一層販路擴張の目的にて
「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも卸直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
仁川本町三丁目（電話七〇五番）
時計卸商 喜多金光堂本店
京城本町二丁目（電話一〇一五番）
時計卸小賣 喜多金光堂支店
京城本町一丁目憲兵分遣所前（電話一三二八番）
右特約店 金化堂時計舖
京城本町四丁目角
右特約店 中村時計店
各地方より御注文は發送實費申受候

辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
京城明治町二丁目（佛國教會前）
電話三五四番

特約販賣 自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
支那白菜漬
朝鮮菜葉漬 大賣出し
電話二五一番

金錢貸借電話讓渡
土地家屋老舖賣買
人事百般其他
周旋業 明治屋
京城明治町一丁目勸商場前（電話一二九八）

印章彫刻
ゴム印彫刻
諸官衙御用達
京城本町四丁目
赤帽子號印舖
奥野岩太郎
電話九三番

奥出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一（電話一二五五番）

資本金一千萬圓
積立金五百四十萬圓
株式會社第一銀行京城支店
電話一一番 六二一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
本店 東京市日本橋區兜町
支店及出張所 大坂、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、
其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
（電話四百十二番）

★株式會社百三十銀行 韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、北崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤
山陰道 大聖寺、宮津、舞鶴、富山、伏木、新湊、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、岡山、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、綱干、牛窓、味野、岩見、岡山
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、臺南
淸韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、街州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
入院隨意

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓
積立及繰越金九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店（電話四二〇）
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山
韓國 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢二厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）